



★千葉地本即応予備自衛官だより★

即応予備3等陸曹 金田こずえさんは、一般公募予備自衛官から即応予備自衛官に任用されるための訓練（特技取得訓練）を修了した後に志願し、令和6年度から東部方面隊の女性即応予備自衛官では初となる、普通科中隊（ナンバー中隊）への配置となりました。また、パワーリザーブ2024年度版（予備自衛官等教養資料）に投稿していただいた記事が掲載されましたのでご紹介いたします。

制度に関するお問い合わせや資料等をご希望の方はお気軽にご連絡下さい。

特技取得訓練とは？

概要	一般公募予備自衛官が即応予備自衛官に任用されるための訓練
日数	1回の訓練は4～5日間で3年以内に約40日間（基準）が必要 ※1年間20日以内
場所	朝霞駐屯地

国防に全力を尽くす

自衛隊千葉地方協力本部
予備三等陸曹 金田こずえ

私は、令和四年五月から令和五年十一月の間計三十八日間、第三十一普通科連隊第三中隊において、一般公募予備自衛官から志願して、即応予備自衛官になる為の特技付与教育訓練（基本軽火器）に第四期生として参加し、十八名の仲間と共に終了する事が出来た。

令和四年度に第三十一普通科連隊に一般公募予備自衛官の女性を始め受け入れてもらう事が出来き、待ちに待ったナンバー中隊での念願の教育訓練で非常に嬉しく、その教育訓練も無事に終了できたので、幸甚の極みである。

平成二十四年四月に予備自衛官補（一般）に任官し、同年十二月に五十日間の教育訓練を終了し予備自衛官に任官して四任期十二年となるが令和元年度には予備自衛官中央訓練に参加した猛暑の中三日間の休みなく続いた弾倉交換や市街地戦闘訓練の演練に挑み、任務を完遂できたことは自信に繋がった。

更に同年中に台風第十九号による災害派遣の招集を受け、陸上総隊司令部参事

官室勤務を命じられ、二十日間の勤務をした。

参事官、自衛官、事務官と勤務し、災害派遣の運営の仕方を目的の当たりに出来た。また、千葉県及び長野県の災害派遣現場での活動状況を皆で一緒に視察し、予備自衛官として大変実りのある訓練と貴重な経験を得る事が出来た。

ところで、特技付与教育訓練を受ける際に、自分で着眼としていたことがある。それは常に一つ先のことを考えて行動する事である。訓練を重ねていくうちに、小部隊の指揮官として行動しなければならぬ状況も増えていった。その度に緊張して頭が真っ白になるのではこの先何の進歩もないかと思ひ、常に一つ先の事を考え行動すれば、視野が広がり全体が見渡せ心に余裕ができ、落ち着いて指示が出せることに気が付いた。それから、指示を受けている時も一つ先を考える癖がつき、課業外のことも限られた時間の中で計画的に行動できるようになってきた。

私は普段陸運業で働いており、ベルトコンベアーで運ばれてくる荷物をエリアごとに仕分けし発送する現場にいる時に怒涛のように押し寄せる荷物の量に気合を入れ、息をつく事なく仕分けを続ける持久力で、戦力としてチームに貢献している。

入社した時は百貨店でお客様の出された荷物の荷受け、発送、問い合わせ、事務等の業務をしていた。その後、教育訓練に参加して訓練日数が年五日から二十日に増加し、同僚に業務の負担をかける様になった。今まで以上に自分の担当に責任を持ち、ワンチームとして密に意思疎通を図り、目に見える形で成果を出すことで訓練出頭に職場の理解を得られるよう努力しなければならぬと痛感した。

即自として一步ステップアップするには、訓練準備等当たり前の事を当たり前に出来る様にならないければならぬ。どんな事も意識し、自覚し、習慣にし、一つ一つ身に付けられる様強い使命感を持って臨んでいきたい。





即予備自衛官の雇用に係る感謝状の贈呈

即応自衛官の長年にわたる雇用と訓練出頭へのご協力について、感謝状及び協力事業所表示証が贈呈（伝達）された企業様をご紹介します。

合同会社房総山業 様

東部方面総監から感謝状贈呈
令和6年2月24日



関東軽自動車運送協同組合 様

第31普通科連隊長から感謝状贈呈
令和6年3月9日



祝賀会には社員
(即応予備自衛官)
の方々も参加

株式会社プラス 様

東部方面混成団長から感謝状贈呈
令和6年5月18日



株式会社プラス 様

大臣認定協力事業所表示証贈呈
(自衛隊千葉地方協力本部副本部長から伝達)
令和6年5月8日



千葉地本予備自衛官室HP
(各種制度説明あり)



お問い合わせ先

自衛隊千葉地方協力本部
援護課 予備自衛官室
043-251-7151 (内326)
070-7020-3513 (公用携帯)
Email: pco_chiba_emps03@ext.gso.mod.go.jp

